

図書委員によるオススメ本の紹介

今回は図書委員の広報班等にオススメの本をセレクト、紹介してもらいました。
もちろんここに紹介されている本は図書室にあります。是非手にとって読んでみて下さい。

「告白」 湊かなえ著 双葉社

私のおすすめの本は、「告白」です。
自分の子供を教え子に殺された教師の復讐劇。
第一章の、教師の語りの場面からすぐに物語に引き込まれて行きます。本当にページをめくる手が止まらない・・・ラストまで、緊張感と怖さが続いて、読み終わってもしばらくは寒気がします。怖いのが嫌いな人は気を付けてください。それ以外の人はぜひ、ぜひ読んでみてください。
1年生女子図書委員

「ダレン・シャン」 ダレン・シャン著 訳:橋本恵
このシリーズは、「フリーク」を見に行ったことがきっかけで半ヴァンパイアとなってしまった、ダレン・シャンがヴァンパイアの世界で生きていくダークファンタジーです。
この本の著者は、ダレン・シャン氏。本の主人公も著者も同じ名前です。なぜ、同じ名前なのかは物語の大きな鍵になっていきます。また、個性的なキャラクターが多数登場します。中には途中退場してしまうキャラクターもありますが、それぞれが強い印象を残しています。そして、ダレンとかつての親友スティーブとの対決が物語の大きなクライマックスです。はたして、二人は分かり合えるのか？ぜひ、読んでみてください。ほぼ確実にハマります。
1年生男子図書委員

「『亜玖夢博士の経済入門』 橋 玲著
「相談無料。地獄を見たら亜玖夢へ」
怪しいチラシを片手に、研究所を訪れるのは、どうしようもない悩みを抱えた人ばかり。
そんな彼らを相手にするのは、マッドサイエンティストのような容貌の亜玖夢一太郎博士である。……のだが、博士が出す解決策は、どうにも怪しい策ばかり。彼らは本当に悩みを解決できるのか？ 多重債務から自分探しまで、人々はなぜそうするのが、よく分かる、楽しくて少しブラックな本です。

「ダレン・シャン」 ダレン・シャン著 訳:橋本恵
世にも奇妙な「フリークショー」 おおかみ男、ひげ女、蛇人間……中でもダレンが魅了されたのは、ヴァンパイアの毒グモを使ったショーだった。
ある夜、毒グモが欲しくてたまらなくなったダレンは、とうとう盗みに踏み出した！！
毒グモ、『マダム・オクタ』をついに手に入れたダレン。気分の上がりようは、言うまでもない。二回かみつただけでヤギも殺す危険なクモを外に出し始める。そして、とうとうある日友人が刺されてしまった！！
病院に運ばれた友人。医者には直せないという。ダレンは友人を救うため、意を決してマダムの飼い主ヴァンパイアに会いに行く。それが、ヴァンパイア『クレブスリー』との出会いだった。クレブスリーは友人を救う代わりに、なんとダレンに『半ヴァンパイア』になることを条件にしてきた。こうして、人生の変わってしまったダレン。クレブスリーとの旅が始まる。
読書の始まりは、「ダレン・シャン」から今すぐ図書室へ。

「レインシリーズ」 吉野匠著
この話の舞台は、異星界に存在する大陸であるニュールゲニアです。ドラゴンスレイヤーと噂される黒衣の戦士レインと、大陸南部の小国サンクワールの王女シェルファが、大陸全土の支配をたくらむ、大国ガーマインの王レイグルを倒すべく、多くの仲間たちと共に冒険をします。この本の見どころは、悲しい過去を受け入れさらに強くなろうとする主人公レインの強い決意が、己を強くする所です。ファンタジーの中でも、特に面白い本といえるでしょう。
1年生男子図書委員

「虹色ぼたる」 川口雅幸著
主人公の少年ユウタは小学六年生。夏休みにカブト虫を捕まえようと、山奥のダムを訪れていた。ところが、突然の雷雨に襲われ足を滑らせ気を失ってしまう。目を覚ましたユウタが、見たものは、ダムに沈んだはずの村だった……！！ タイムスリップした1970年代の田舎の村で過ごすことになったユウタ。
同年代の少年ケンゾーや妹のような女の子のさえずりと
の出会い。失われゆく日本の夏の風景の中、かけがえのない夏休みがはじまります。楽しくて、すごく楽しくて時間が止まればいいのにそう思った。そんな夏休みをあなたも体験してみませんか。ラストには思わず涙がこぼれる、そんな切ない感動ファンタジーです。
3年生女子図書委員

「グラスホッパー」 伊坂幸太郎著
私がオススメするこの本は、コメディーともサスペンスともつかない、まさに「殺し屋小説」です。三者三様の技を持つ殺し屋たちの三つ巴戦と、それに巻き込まれる凡人鈴木、登場人物それぞれの視点から物語がぐるぐる展開し、あっという間に読み終えてしまいます。
とにかく描写も好き、あまり生々しくないし、なによりどのキャラクターも個性的で面白いです。
3年生女子図書委員

「モノレールねこ」 加納朋子著
「ノラのデブねこ」の首にはさんだ、手紙で主人公のサトルがタカキと文通をするお話です。ところが、ある日そのねこがひかれてしまい……？その他にも大切な人との絆をテーマにした7編が収録されています。それぞれの話は長くないので読みやすいのではないのでしょうか
3年生図書委員

「ログ・ホライズン」 橙乃ままれ著 ハラカズヒロ画
現実世界でオンラインゲームの「エンダーテイル」をやっていた人々が、突如そのエルダーテイルの世界に閉じ込められてしまいます。
その慣れない世界でプレイヤー達が奮闘していく話です。
主人公仲間たちの会話やゲームの世界での人々の過ごし方など、面白い点も多くあり、なにより、本が苦手な人でも読みやすくなっています。
ゲーム好きな方やファンタジー系の本が読みたい方におすすめです。
1年生男子図書委員

「偉大なる、しゅららぼん」 万城目学著
私がおすすめる「偉大なる、しゅららぼん」は、ありえないような設定になっていて、空想ファンタジーですが、人間っぽい現実的な面もちゃんとあって、クライマックスは、きっとじーんとしてしまうと思います。
自分の立ってる場所が危うくなったとしても、大切な誰かのために何かをしようとした事なんてあるかな……不意にそう自分に問いかけたくなる本です。
楽しみつつ、共感できる部分が多い本なので、良かったらぜひ読んでみてください。
3年生女子図書委員

「孤独星、陽のあたるところ、×(かける)」
ベニ著、海央著、柚木椅子著
「世界が終わる夜に」をテーマに、10代の3人が書いた蒼き3つの物語。
世界中の空から星が消えたお話。
目の見えない少女の見た世界のお話。
世界の終りにひきこもりが世界を救うお話。
読み終われば生きていることが、素晴らしく思える一冊です。
2年生男子図書委員